

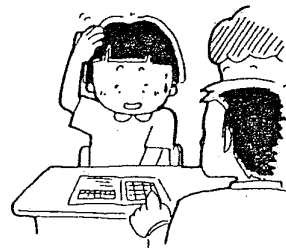
## Q 5

1学期はほとんど欠席の状態でしたが、2学期になって再登校できるようになりました。しかし、まだ元気のない様子が見受けられます。

このような段階の子供へのかかわり方はどうあればよいのでしょうか。

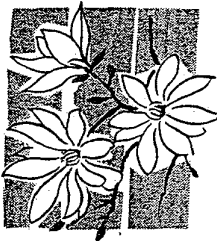
### A1 学級担任による再登校段階の状態の理解と対応

- .....《基本的理解1》.....
- 長いこと休んでいた子供は、身体的にも学校のスケジュールにすぐにはついていけないものです。
  - 基本的には、無理をさせないような対応をすることです。
  - 最初は、1週間に1日か、2日程度の登校になる子供もいます。少しずつ生活のリズムを整えていきます。
  - すぐに教室に入れない場合は、保健室や教育相談室など、しばらく本人の居場所を確保しながら、教室に戻れるように工夫します。
- .....



#### 《子供への言葉掛けの例》

- ・「どんな方法が一番学校に行きやすいかな。」
- ・「君自身の気持ちが一番楽なようにやっていけばいいんだよ。あまり無理に頑張らなくていいよ。」
- ・「別に教室から始めなくてもいいんだよ。例えば、保健室とか教育相談室とか、君の過ごしやすいところから始めてもいいよ。」
- ・「疲れてない？少し保健室で休んできてもいいんだよ。」



- .....《基本的理解2》.....
- 再登校したての頃は、少しずつ頑張らせ、できるところから無理をせずに、ゆっくり進めていきます。
  - 初めは自分が行けそうな時間に、ゆっくりと出て行かせたり、疲れたら他の場所で休ませたり、早退させたりするなどの配慮をします。
- .....

#### 《子供との会話の例》

- 先生「登校は何時からできそう？行けそうな時間からでいいよ。」  
子供「午後から行ってみようかな。」  
先生「午後から来る？じゃあ、先生と校門で待ち合わせしてみようか。」

## A2 その他の職員のかかわり方

### 《基本的理解と対応1》

- 何げない一言を気にして、再び登校できなくなってしまうことがあります。
- 不登校の子供が再登校した場合、無理に声を掛けなくても、温かいまなざしをそそぎ続けるだけで、心の安定が図れるものです。
- 受け入れ体制づくりとして、全職員の本人に対する、具体的対応の在り方を提示します。

### 《言ってはいけない一言》

～具体例～

- ・明日も頑張って来いよ。
- ・この調子なら明日も大丈夫だな。
- ・お父さんやお母さんに心配かけるなよ。

### 《子供への言葉掛けの例》

- ・「やあ、A君おはよう。」
- ・「顔色いいね。」
- ・「先生は君と会えるのが楽しみだな。」
- ・「困ってることはないかな？」
- ・「心配なことがあったら何でも相談してね。」
- ・「先生でよかったら、いつでも相談にのるよ。」



### 《基本的理解と対応2》

- 登校している様子を見ると、表面上は特に問題がないように見えることが一般的ですが、内面的には不安な場合が多いのです。
- 時として「何てわがままな子だ。」と思え、叱責してしまって、再び家に閉じこもらせてしまう場合もあります。
- 保健室登校や教育相談室、図書室などへの登校の場合は、他の業務との調整や過ごさせ方についての手だてを具体的にしておきます。



### 《子供への言葉掛けの例》

～保健室で～

- ・「今日の一日の計画どうする？一緒に考えてみようか。」
- ・「資料の印刷、手伝ってくれるかな。」
- ・「給食はどうする？だれと一緒に食べる？」

～教育相談室で～

- ・「担任の先生に聞いたんだけど、君パソコンがすごく得意なんだってね。」
- ・「今日は、先生と一緒にパソコンやってみようか。」
- ・「〇〇先生がこのプリントやってみたらどうかなって言ってたけど、一緒にやってみようか。」